



まよい犬をさがそう

犬のとくちよう

・クロ ・大きい ・体は白

・足の先が茶 ・首わ

もっとしりたい！

しつもん

・耳はどうなっていますか？

↓ たれてる

・しっぽのようすは？

↓ ぴんと立っている

・口はあいていますか？

↓ とじている

分からないことはしつもんして話を聞こう

しつもん

・もっとしりたいこと

← 「大事なこと」

← 犬のとくちよう

1 指導内容（新学習指導要領解説編から）

小学校国語科編より

話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えること。

2 本時のねらい

話の中の大事な言葉に着目し、メモに書いたり分からないことは質問したりすることを通して、大事なことを落とさずに聞く。

3 「深い学び」の鍵となる「見方・考え方」を働かせるための発問の意図

引 【「見方・考え方」を引き出す発問】

情報不足の話聞き、自発的に質問したくなるようにする。

鍛 【「見方・考え方」を鍛える発問】

よく聞いても分からない場合には、質問が必要になり、質問の内容は、話の中の「大事なこと」であると気付くことができるようにする。

4 「主体的な学び」・「対話的な学び」の重点

【対話的な学び】

話し手と聞き手に分かれて犬を探す活動をペアで行い、話し手はどのような特徴を伝えればよいかを考え伝える。聞き手は、犬を見付けるために必要な特徴をメモに書いたり、質問したりして聞く。話し手と聞き手のどちらも経験することにより、話し手が知らせたいことは聞き手にとっても大事なことであると気付くことができるようにする。

5 学習過程

段階	主な学習活動と予想される児童の反応	・指導上の留意点 口評価の観点【評価方法】
導入 5分	1 本時の学習に興味・関心を持つ	問題文の例 クロは、大きな犬で、体の色は白です。足の先だけ茶色です。首輪を付けています。 ・各自、メモに書きながら聞く。 ・犬の特徴についての情報に不足がある問題を出し、自発的に質問する場面を作る。 ・メモを見せ合い、ペアで犬を探し、他の特徴を知る必要性に気付かせる。 ・よりよいメモの書き方が身に付いていない児童に声を掛け、前時のよりよいメモについて想起させる。
	T { どの犬のことを話しているのか特徴をよく聞き、ペアで犬を見付けましょう。 C 1 大きな犬で体は白だね。 C 2 足の先は茶色ね。 C 1 首輪も付いているね。ということは、この2匹のどちらかだ。 C 2 どっちだろう。耳の特徴も知りたいな。 C 1 しっぽの特徴も気になるな。	
	T { 引 更にどのような犬の特徴を聞きたいですか。 [引③]	

展 開 30 分	<p>C 3 耳はどうなっていますか。 C 4 しっぽの様子はどうか。 C 5 口は開いていますか。</p> <p>T { そうですね。もっと質問したいことがありますね。</p> <p>2 本時のめあてを知る</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><めあて> わからないことはしつもんして話を聞こう</p> <p>3 質問を考える</p> <p>C 7 耳はどうなっていますか。 T 耳は垂れています。 C 7 口は開いていますか。 T 口は閉じています。</p> <p>4 ペアで犬を見付ける</p> <p>T { これからペアで話す人と聞く人に分かれて、犬を見付け合います。伝えたい犬を決めましょう。</p> <p>C 8 私は、似ている特徴があるこの犬にしよう。 C 9 ほくも決めた。これなら上手く伝えられそう。</p> <p>T { 自分が決めた犬について、相手に伝えたい特徴をノートに書きましょう。その後、話す文章をつくりましょう。その際、相手が質問できるように、いくつかの特徴を秘密にしておきましょう。</p> <p>C 10 この犬は体が黒で、耳は垂れています。 C 11 鼻の色はどうなっていますか。 C 10 鼻の先だけが黒いです。 C 11 分かった。この犬だ。</p> <p>C 12 この犬は体が白で大きい犬です。 C 13 体は白と分かったけど、全部白ですか。 C 12 足の先だけが黒です。 C 13 分かったこの犬です。</p> <p>C 14 この犬は体が黒で、口は閉じています。 C 15 この犬の気はするけれど聞いてみよう。足の先は何色ですか。 C 14 足の先だけ白です。 C 15 分かった。この犬のことですね。</p> <p>C 16 この犬は体が茶色で、しっぽが短いです。 C 17 体は何色ですか。首輪はしていますか。 C 16 さっきも話しましたが、体は茶色です。首輪はしています。 C 17 聞き漏らしました。この犬ですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 犬を探す目的の場面では、他の特徴も大事なことに気付かせる。 <p>児童の質問に答える犬の特徴</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 耳は垂れている • しっぽはびんと立っている • 口は閉じている </div> <ul style="list-style-type: none"> • 全員で特徴を確認し、犬を見付けるようにする。 • ペアで話し手と聞き手に分かれ、交替しながら取り組む。 • ペアを交換して、2回取り組ませる。 • 特徴は書き出すことができても文章に書くことに難しさを感じている児童には、教科書 P.72 の話をモデルとして示す。 <p>聞く能力</p> <p>メモを書いたり質問をしたりして、大事なことを落とさずに聞いている。 【観察・ノート】</p>
終 末 10 分	<p>5 本時の学習を振り返り、自分の生活と結び付ける</p> <p>T { 鍛 どのような質問がよりよい質問と言えるのでしょうか。(今日の学習を振り返って考えたことをまとめましょう。) [鍛②]</p> <p>C 14 特徴をもっと知りたかったので、話に出て来なかった特徴を質問しました。 C 15 C 11さんと似ていて、どの犬かは分かったけれど、他の特徴も気になったので質問しました。 C 16 1回で聞くことができなかったことを質問しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 目的に応じて話を聞くことが大切であることに気付かせ、大事なことを落とさずに聞くためには「質問すること」が1つの方法であると確認する。